

Biodata Bank, Inc.

PRESS RELEASE



ひらかたパークにおける

熱中症予防対策ガイドンス策定に係る実証実験の実施

Biodata Bank 株式会社 (代表取締役社長：安才武志) はひらかたパーク (大阪府枚方市) において、リストバンド型熱中症対策デバイス『Biodata Band』を活用した、個人の特性にフォーカスした熱中症予防の実証実験 (以下、「本実験」という) を実施いたします。本デバイスは環境省の「平成 31 年度熱中症予防対策ガイドンス策定に係る実証事業」で使用する機器として採択されております。これまでの WBGT を用いたマスをターゲットに行う熱中症対策から、技術の進歩から可能となった個人をターゲットに行う新しい熱中症対策を普及させていくことを目的とする実証実験です。

本実験の 概要

期 間：2019 年 9 月中
場 所：ひらかたパーク (大阪府枚方市枚方公園町 1-1)
対 象 者：園内勤務スタッフ (約 300 人)
実施主体：Biodata Bank 株式会社、株式会社京阪レジャーサービス
責 任 者：安才武志 (Biodata Bank 株式会社代表取締役社長)



図 1：実証実験を行うひらかたパーク

本実験の目的、内容、期待される効果

ひらかたパークにおいては、混雑する夏季には気温が30℃以上に達し、屋外で遊ぶ来場者のみならず勤務するスタッフの熱中症リスクが高まります。実際に熱中症様症状で救護室の利用や、救急搬送を要する場合があります。

熱中症の直接的要因である深部体温という部分に着目し、深部体温の上昇から熱中症になる前にアラートを鳴らすことで主体的な熱中症対策（スポーツ飲料水を飲む・日陰で休む）を促すリストバンド型熱中症対策デバイス*『Biodata Band』を、そのような暑熱環境下で働くスタッフに対して配布することで、熱負荷を可視化した上で、熱中症に対する意識、態度、そして行動の変化を分析し、新たな熱中症対策の提案と社会実装につなげるのが目的です。



本実験の具体的な流れは下記の通り予定しております。

- 1 対象者に対してデバイスの取扱、実証実験の目的 / 意義についての説明を行う。
- ↓
- 2 年齢・性別・内服歴などの情報をアンケートにより取得。
- ↓
- 3 デバイスの配布、装着した上での業務施行。
- ↓
- 4 デバイスを装着した日の状況・行動およびデバイスの装着感・使用感をアンケートにより調査。
- ↓
- 5 回収したデバイスからデータを採取。アンケート内容と照合し、統計学的に解析。
- ↓
- 6 共同する機関に対して結果を報告。

本実験により、暑熱環境下における個人にかかる熱負荷と身体の状態、そしてアラートによる意識の変化と行動変容が明らかになり、個人のバイタルデータと連動した新たな熱中症対策の構築が進展し、ガイドンス策定などその社会実装に向けた道筋が具体化されます。

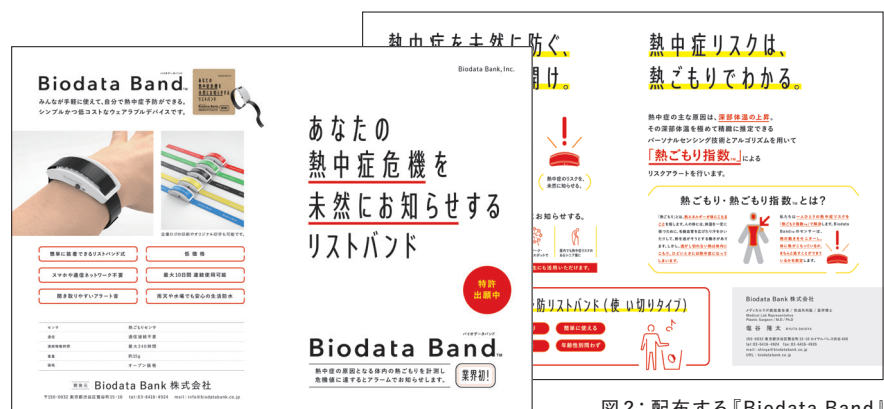


図2：配布する『Biodata Band』

本件に関する
お問い合わせ先

Biodata Bank 株式会社

担当：塩谷隆太（メディカルラボ統括責任者）

電話：03-6416-4924 Email: shioya@biodatabank.co.jp HP: https://biodatabank.co.jp/